

平成24年9月18日

京阪電車 大津線開業100周年記念

石山坂本線で「京阪本線特急色600形車両」を運行します！

～ 10月27日（土）には、臨時列車の運転や撮影会を実施！ ～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：加藤 好文）では、当社が運行する路線のひとつ、大津線（京津線、石山坂本線）の開業100周年を記念し、平成24年度を大津線100周年キャンペーン期間として、様々なイベントを展開しております。

この度、その目玉のひとつである「京阪本線特急色600形車両」の運行を、9月26日（水）から、石山坂本線で開始します。また、10月27日（土）には、臨時列車の運転や撮影会を実施します。

戦後に製造され、大津線の近代化を象徴する存在として登場した260型や後継の300型は、京阪本線の特急色をまとい、最も多い時期には大津線を運行する車両の過半数を占めていました。この懐かしの塗装を、今回600形で再現することにより、沿線のお客さまをはじめとする多くの皆様に、大津線へのさらなるご理解とご愛顧を賜りたいと考えています。

詳細は別紙のとおりです。

京津線…大正元年（1912年）8月15日、京津電気軌道株式会社が三条大橋一札の辻（かつて上栄町一浜大津間に所在。昭和21年廃止）間で開業。以来、大津と京都を結ぶ交通ルートとして重要な役割を担ってきました。
石山坂本線…大正2年（1913年）3月1日、大津電車軌道株式会社が大津（現・浜大津）―膳所（現・膳所本町）間で開業。以来、大津の皆様の手として親しまれてきました。



京阪本線特急色600形車両

(別紙)

1. 「京阪本線特急色600形車両」の運行

(1) 概要

600形車両1編成(603-604号車)で、かつての260型・300型車両がまとっていた京阪本線特急色を再現。石山坂本線を運行します。

(2) 運行開始日

平成24年9月26日(水)

(3) 運行区間

石山坂本線(石山寺駅-坂本駅間)

2. 「京阪本線特急色600形車両」臨時列車の運転および撮影会

(1) 実施日

平成24年10月27日(土)

(2) 臨時列車の運転内容

臨時普通	近江神宮前発	10:03	→	坂本着	10:12
臨時普通	坂本発	10:41	→	石山寺着	11:14
臨時普通	石山寺発	11:17	→	浜大津着	11:33
臨時普通	浜大津発	11:35	→	四宮着	11:47
臨時普通	四宮発	13:08	→	浜大津着	13:19
臨時普通	浜大津発	13:20	→	石山寺着	13:36
臨時普通	石山寺発	13:39	→	坂本着	14:12

(3) 撮影会の内容

①場所

四宮車庫(所在地:京都市山科区四ノ宮堂ノ後町23番地)

②時間

12:00~13:00(予定)

(参考)

○260型

戦後、大津線の近代化を象徴する存在として登場。昭和32年から26両が製造され、同線で活躍しました。塗色はマンダリンオレンジとカーマインレッドの京阪本線特急色をまとい、京津線内では主に2両編成の急行として運用されました。昭和55年から一般色に変更されました。

定員：95人（片運転台車）、新造：昭和32年4月、廃車：昭和62年4月～平成9年10月

○300型

昭和40年から8両が製造され、大津線で活躍。当初は京阪本線特急色でしたが、晩年は一般色となりました。京津線内では、急行、準急に運用されました。

定員：95人、新造：昭和40年6月、廃車：昭和59年10月



260型



300型

以上